茨城の土地改良

発行所
茨城県土地改良事業団体連合会
水戸市宮内町3193-3
電話 029-225-5651㈹
ＦＡＸ029-225-5239
編集兼発行人
葉　梨　　衛

みどり 水土里ネット
食と環境をまもる

第15回いばらきの農業･農村子ども絵画コンクール入賞作品　茨城県土地改良事業団体連合会長賞
「バラ摘みに行ったよ」　守谷市立守谷小学校　鈴木　珠奈

目　次

連合会第66回通常総会を開催…… 2
全国水土里ネット表彰式を開催…… 3
就任・新年度のご挨拶（専務理事　金　　徹、農林水産部農地局長　渡辺邦夫）…… 4
令和５年度農業農村シンポジウムを開催…… 6
茨城県知事への表敬訪問…… 7
令和６年能登半島地震における災害派遣に協力…… 7
令和６年能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金について…… 7
令和６年度茨城県土地改良事業団体連合会事務局機構図…… 8
令和６年度第１回監事会を開催…… 9
令和６年度第１回理事会を開催…… 9
農業基盤整備資金の金利改定…… 9
令和６年度新規採用職員の紹介…… 10
茨城県農地局作成動画「水田３ジューシー」…… 10
第15回いばらきの農業･農村子ども絵画コンクール …… 11
「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展2023…… 12
いばらき水土里ネット女性の会　令和５年度第２回幹事会を開催…… 13
令和５年度土地改良区体制強化事業　統合整備推進研修（会計研修）を開催…… 13
令和５年度土地改良区体制強化事業　農業水利施設の省エネルギー対策研修を開催…… 14
茨城県農林水産部農地局の人事異動…… 15
連合会の人事異動…… 18
農家負担金軽減支援対策事業のご案内…… 19
土地改良施設の盗難にご注意！…… 20

連合会第66回通常総会を開催

去る２月21日（水）水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、関係者約210名の参集のもと茨城県土地改良事業団体連合会の第66回通常総会を開催した。

総会に先立ち葉梨会長は、「国においては、食料安全保障の強化が国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されております。食料安全保障の確立の観点から、食料生産を支える農業生産基盤を維持するためには、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備の実施と、担い手への集積・集約化の推進や、老朽化が進む農業水利施設の適時・適切な長寿命化対策の実施、更には、頻発する自然災害に対し、農村地域の防災・減災対策を効果的に推進する国土強靱化の取り組みが必要であると考えております。これらの施策を推進するためには、安定した予算の確保が大前提であり、国の土地改良事業予算は、令和５年度補正と令和６年度当初を合わせて6,240億円が計上され、地元が必要とする予算が確保される見込みであります。これも、日頃から会員の皆様方が、地元の声を国・県につないで頂いた結果であり、感謝申し上げる次第であります。本会といたしましても、関係機関と連携を図り、各種施策を円滑に推進し、会員の皆様を支援してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。」と挨拶した。

引き続き、土地改良功労団体及び功労者の表彰が行われ、３団体と８名の個人並びに本会の職員４名に対し、表彰状が授与された。その後、受賞者を代表し、岸紀子茨城南総土地改良区事務局長（いばらき水土里ネット女性の会会長）より謝辞が述べられた。

次に、来賓として飯塚博之茨城県副知事、半村登県議会議長、信夫隆生関東農政局長の祝辞を頂き、続いて来賓の紹介と祝電が披露された。

その後、田口一彦ひぬま川土地改良区理事長が議長に就いて議事に入り、提出した議案第１号～第８号がすべて原案どおり可決承認された。

なお、議案第８号においては、役員の欠員に伴う補欠選任が行われ、水戸管内理事として那珂川統合土地改良区理事長の雨澤誠氏、学識経験者理事として金徹氏が選任された。

葉梨　　衛　会長

謝辞
茨城南総土地改良区
岸　紀子事務局長

来賓　飯塚　博之
茨城県副知事

来賓　半村　登
茨城県議会長

来賓　信夫　隆生
関東農政局長

議長　ひぬま川土地改良区
田口　一彦理事長

◆土地改良功労（団体）表彰地区

・金砂郷中部土地改良区（常陸太田管内）
・高田土地改良区（稲敷管内）
・山川沼土地改良区（筑西管内）

◆土地改良功労者（個人）表彰者

・大津　洋司（飯富土地改良区理事長）
・鈴木　將一（千波湖土地改良区理事長）
・吉成　純子（岩崎江堰土地改良区事務局長）
・宮川　健司（要土地改良区理事長）
・中澤　徹治（石岡台地土地改良区総務課長兼会計主任）
・宮本　満（小野川沿岸土地改良区理事長）
・岸　紀子（茨城南総土地改良区事務局長兼会計主任、いばらき水土里ネット女性の会会長）
・富田　直美（茨城南総土地改良区係長）

◆連合会永年勤続表彰者（30年）

・樋口　雅也（本所）
・小瀧　雄二（県北事業所　農業農村整備課）
・関根　宏雄（県南事業所　農業農村整備課）

◆連合会永年勤続表彰者（20年）

・小池　忠則（本所　農業農村整備課）

（以上、敬称略　役職等は令和６年２月21日現在）

全国水土里ネット表彰式を開催

去る３月26日（火）、東京都千代田区平河町「全国都市会館」において、第65回全国土地改良功労者等表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式が開催された。

全国土地改良功労者等表彰では、農林水産大臣表彰が５地区、農林水産省農村振興局長表彰が２地区、全土連会長表彰が54団体が受賞し、また、個人表彰では113名が受賞した。

また、農業農村整備優良地区コンクールでは、農業振興部門12地区（農林水産大臣賞２地区、農村振興局長賞４地区、全国水土里ネット会長賞６地区）・中山間地域等振興部門６地区（農林水産大臣賞２地区、農村振興局長賞２地区、全国水土里ネット会長賞２地区）が受賞した。

なお、本県からは以下の個人及び団体が栄誉に輝いた。

第65回全国土地改良功労者等表彰（茨城県内分）

団　体　表　彰	全土連会長表彰	本新土地改良区 （理事長：篠　﨑　一　夫）
		一の瀬土地改良区 （理事長：苅　部　　勝）
個　人　表　彰	役　　員	谷　口　眞　一 （福岡堰土地改良区理事長）
	職　　員	谷　川　善　弘 （吉川土地改良区・要土地改良区事務局長）
		岸　　紀　子 （茨城南総土地改良区事務局長兼会計主任）
		大和田　正　己 （千波湖土地改良区次長兼庶務会計主任係長）

（以上、敬称略　理事長等名は令和６年３月26日現在）

☆受賞された関係機関並びに関係者の方々には、改めて心からお祝い申し上げます。

就任・新年度のご挨拶

茨城県土地改良事業団体連合会
専務理事
金　　徹

この度、茨城県土地改良事業団体連合会専務理事に就任いたしました金（こん）でございます。会員の皆様のために、国や県とのパイプ役になって精一杯務めさせていただきます。皆様からの変わらぬご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

会員の皆様方には、日頃より農業農村整備事業の推進と連合会の業務運営に格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国においては、世界的な食料情勢や気候変動、農産物の輸出拡大等の諸課題に対応していくため、農政の憲法とも言われる「食料・農業・農村基本法」の見直しが進められております。

国内農業を取り巻く情勢としましては、特に今後の農業者の大幅な減少が深刻な問題となっており、国の試算では、農業者の数が20年後には、現在の1/4程度にまで減ってしまうとしています。

こういった人口減少に起因する問題は今後の重大リスクと捉え、まだ体力のある今のうちから手を打っておくことが必要です。一方、儲かっている産地では後継者がしっかり育っていることからも明らかなように、茨城農業が元気に生き残っていくためには、農業でしっかり収益をあげることが重要です。

このため、県では概ね30年後の2050年を見据え「儲かる農業」の実現に向けた政策の方向性を「茨城農業の将来ビジョン」として昨年５月に取りまとめました。

特に、土地改良区が関係する水田農業において「儲かる農業」を実現するには、生産性（生産効率）を上げることが不可欠であり、そのためには、高いレベルで農地の集積・集約化を進めなければなりません。また、地元で担い手が見つからない場合には、企業参入など外から担い手を呼び込むことも検討が必要です。

さらに、農業所得を増やすには、水田に野菜などの高収益作物を導入して売り上げを伸ばすことも重要です。このための生産基盤としては、排水がよく効くことが第一条件となりますが、一方で近年、気候変動により豪雨災害が多発しております。こうした状況を受け、排水施設など防災減災に寄与する工種については、「土地改良施設維持管理適正化事業」や「県単土地改良事業」の国や県の補助率が引き上げられ、土地改良区等が躊躇することなく排水機能の維持・強化に取り組めるよう措置されています。

本会といたしましては、これらの変化に対応し、農業農村整備事業をより積極的に推進する役割を果たしていかなければならないと考えております。そのためには、必要な予算の確保が大変重要でありますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝を心からご祈念申し上げまして、就任及び新年度のご挨拶といたします。

就任・新年度のご挨拶

茨城県農林水産部農地局長
渡辺　邦夫

皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進につきまして、格別なる御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、本県農業農村整備事業の予算につきましては、昨年度の補正予算と令和６年度当初予算により、今年度の事業実施に必要な額を確保いたしました。ひとえに、茨城県土地改良事業団体連合会をはじめ会員の皆様方から、国などへ地元の切実な声を積極的に届けていただいた結果であり、重ねて感謝申し上げます。

さて、国では、令和６年２月に「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展と地域コミュニティの維持」の観点から「新たな食料・農業・農村基本法」の改正案が閣議決定され、令和６年第213回の通常国会で審議が行われており、土地改良事業につきましては、「生産基盤の確保に向けた担い手の育成・確保とそれ以外の多様な農業人材の役割の明確化」や「近年増大する食料・農業のリスクへの対応の明確化」が位置付けられています。

そのような中、本県においては、長引く物価高騰や急速な少子高齢化に起因する社会問題が顕在化するなど、先の見えない「非連続な時代」の只中におり、農業が魅力ある産業として次世代に選ばれ引き継がれるためには、所得の向上及び農業の構造改革やブランド力の強化が必要であることから、概ね2050年までの中長期的な視点をもった農業の指針として、令和５年５月に「茨城農業の将来ビジョン」を新たに策定し、米や野菜、畜産といった品目別の目指すべき姿や水田農業の構造改革に向けた土地改良事業の在り方などを示しました。

その中で、土地改良事業につきましては、意欲ある担い手への集積・集約を図るとともに、地域が自ら考える「儲かる営農構想」に基づき、水田を「水田エリア」と「畑地化エリア」にゾーニングし、大規模経営体の育成や有機栽培米などの特色ある米づくりとともに、水田を畑としても利用可能にする汎用化などの取組を通じて、高収益作物への転換や施設園芸団地の形成を推進していくこととしております。

また、地球沸騰化の中、頻発化している自然災害に対応するために、老朽化した農業水利施設の長寿命化対策や防災重点農業用ため池、排水機場の整備等を推進するとともに、農村の活性化に向けて、地域の取組を牽引できる人材の育成、地域の農産物や土地改良施設等の地域資源の利活用、都市農村交流などの取組を支援してまいります。さらに、農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮や、鳥獣被害防止対策に向けた地域ぐるみの共同活動等への支援を行ってまいります。

今後とも、「儲かる農業」の早期実現に向けて、本県の農業農村整備事業を推進してまいりますので、皆様方のなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県土地改良事業団体連合会の今後益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年度の挨拶といたします。

令和５年度農業農村シンポジウムを開催

去る２月２日（金）、水戸市「ザ・ヒロサワ・シティ会館」において、茨城県・茨城県土地改良事業団体連合会主催による「令和５年度農業農村シンポジウム」を開催し、土地改良区、市町村、県関係機関・団体等より計231名の土地改良関係者が参集した。

はじめに、横山征成副知事・葉梨衛会長による主催者挨拶の後、土地改良功労者表彰式が行われ、下記４名の受賞者が栄誉に輝いた。

横山副知事

葉梨会長

受賞者一同

◆土地改良功労者表彰受賞者

・片野　壽洋
（有ヶ池江下土地改良区理事長）
・鈴木　將一
（千波湖土地改良区理事長）
・谷口　眞一
（福岡堰土地改良区理事長）
・黒田　輝美
（新利根川土地改良区理事長）

その後は、下記の２名の講師を招き、講演いただいた。

・「将来の土地改良区の運営を見据えた取組について
～海道町農業「再生」への道～」
講師：栃木県海道土地改良区副理事長
和田　浩幸氏

和田　浩幸氏

・「水田難防除雑草ナガエツルノゲイトウの防除試験の取組」
講師：茨城県農業総合センター農業研究所所長
横須賀　知之氏

会場の様子

横須賀　知之氏

茨城県知事への表敬訪問

去る２月15日（木）、水戸市「茨城県庁５階第２応接室」にて、本会葉梨衛会長をはじめとする役員18名で大井川和彦茨城県知事を訪問し、面会した。

その主旨は、令和６年度の土地改良事業関係予算の確保及び電気料金の高騰に対する県の支援についての御礼であり、葉梨会長より内容の説明を行った。

その後、雨谷総括監事（渡里台地土地改良区理事長）より、農業水利施設の電気料金高騰分の一部を補助する「土地改良区省エネルギー化促進事業」の予算確保などによる、土地改良区の電気料金の負担軽減に対する御礼があり、根本専務理事より経営体育成基盤整備事業木原地区の概要及び（株）きはらファームの概要について、また、令和６年元日に発生した能登半島地震にかかる本会の支援について説明があった。

最後に、大井川知事より「電気料金高騰に対する支援について、電気料金が上がった分自動的に補助が上がるというわけではないので、節電や省電力化など、引き続き皆様の自助努力を前提にお願いしたいと考えております。」との言葉を頂き、面会は終了した。

大井川知事と面会者一同

令和６年能登半島地震における災害派遣に協力

令和６年１月１日に発生した能登半島地震に伴う農業集落排水施設の災害復旧において、(一社)地域環境資源センターからの要請を受け、本会の技術職員３名を石川県志賀町に派遣した。

２月５日～２月９日、２月25日～３月２日の期間において、それぞれ現地での農業集落排水施設（主に管路部）の被災状況点検に協力した。

令和６年能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金について

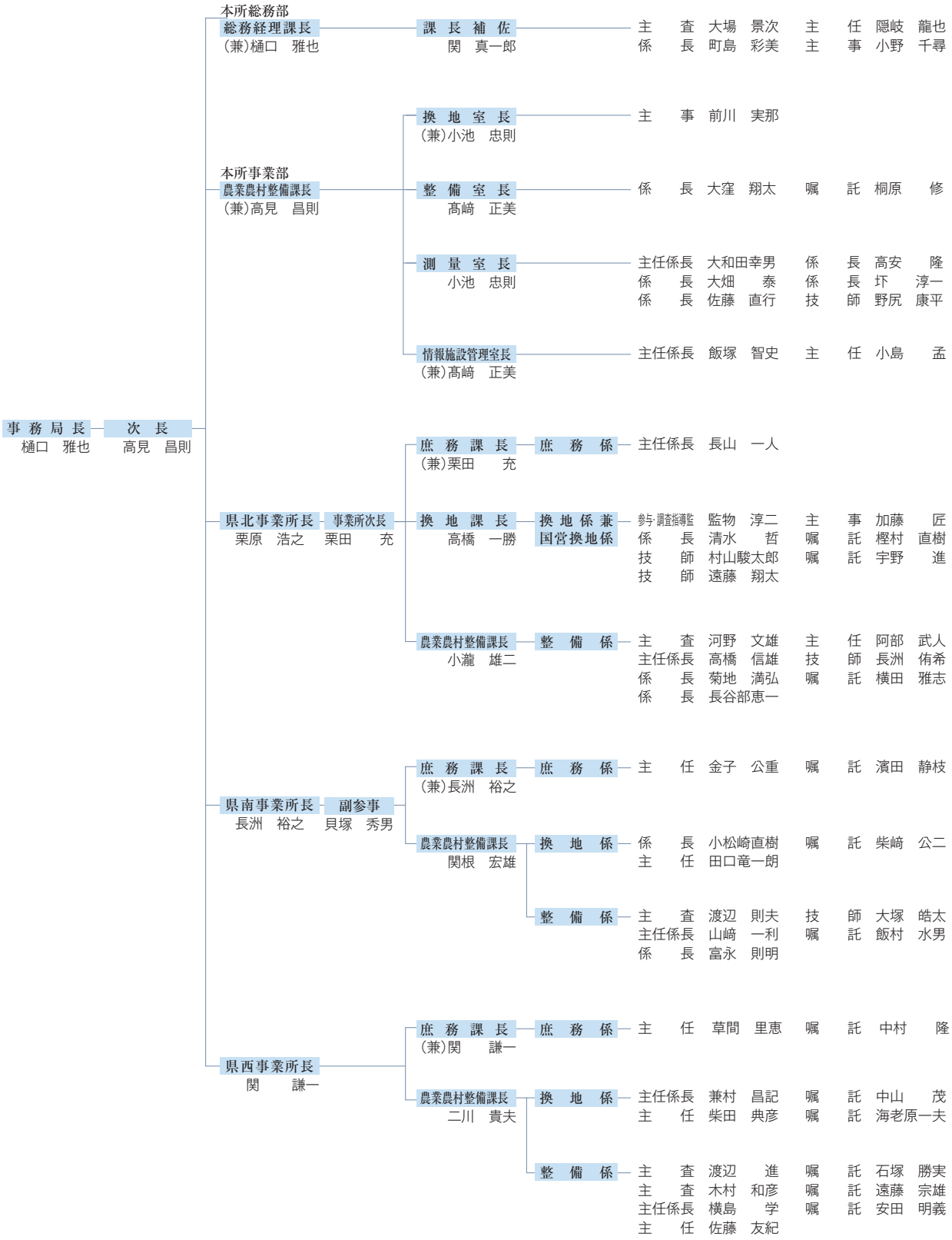
令和６年能登半島地震における被災地域の早期復旧・復興を支援するため、全国水土里ネットを中心とし、水土里ネット支援金募集の取り組みを行った。

本県でも多くの水土里ネット関係者より賛同を賜り、茨城県内で130団体から1,514千円の支援金をお寄せいただいた。全国では、５月現在で64,334千円の支援金が集まり、今後全国水土里ネットより被災県土連を介し被災団体等に贈呈される。

皆様からのご厚意に心より感謝申し上げますとともに、被災地の1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

令和６年度　茨城県土地改良事業団体連合会事務局機構図

令和６年４月１日



計　67名

令和６年度第１回監事会を開催

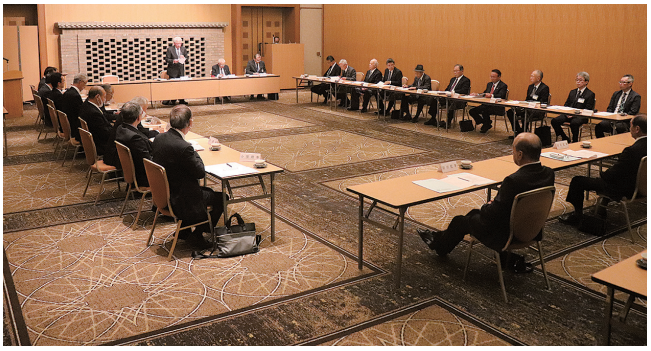
監事会の様子

去る４月２日（火）水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、雨谷総括監事及び岡田監事、鈴木監事の３名の出席のもと、本会の令和６年度第１回監事会を開催した。

出席の役職員の紹介のあと、雨谷総括監事より挨拶があった。

その後、雨谷総括監事を議長として議事に入り、第１号議案･令和６年度監査計画（案）について､上程され､全会一致で可決承認された。

令和６年度第１回理事会を開催



理事会の様子

去る４月２日（火）水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、本会の令和６年度第１回理事会を開催した。

はじめに、葉梨会長の挨拶に続いて、２月21日に開催した第66回通常総会において、役員の補欠選任が行われ、新たに就任された理事を紹介し、次に茨城県より来賓として出席した渡辺農地局長はじめ県農林水産部農地局の幹部が紹介された。

次に、来賓挨拶として茨城県を代表して渡辺農地局長より挨拶があった。

その後、葉梨会長を議長として議事に入り、事務局による業務報告の説明に引き続き、第１号議案・専務理事の互選について、第２号議案・令和６年度土地改良推進指導事業計画（案）について、上程され、全会一致で可決承認された。

最後に、第２回理事会の日程が、令和６年７月４日（木）に決して理事会は終了した。

農業基盤整備資金の金利改定

（株）日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫）が貸し出す農業基盤整備資金の貸付金利が、令和６年５月20日以降下記のとおり改定された。

記

（単位：%）

区　分	利率一覧（令和６年５月20日現在）				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		５年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	1.35	－	－	－	－
団体営補助残	1.20	－	－	－	－
非補助一般	1.20	－	－	－	－
非補助利子軽減	1.20	－	－	－	－
災害復旧	－	0.60	0.85	1.05	1.20

令和６年度新規採用職員の紹介

令和６年４月１日付けで以下の１名が本会の新規職員として採用されました。
会員並びに関係機関の皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

大塚　皓太
（おおつか　こうた）
県南事業所
農業農村整備課整備係技師

令和６年４月１日付けで県南事業所農業農村整備課整備係に配属されました、河内町出身の大塚皓太と申します。

私は、これまで土地改良や農業とはあまり縁のない人生を歩んで参りました。

しかし、自分のやりたいことは何かと考えてみた時、ふと思い浮かんだのは地元の田園風景でした。幼少の頃、友人と近所の田んぼや畑で遊んでいた事を、今でも懐かしく思います。

このような慣れ親しんだ田んぼや畑に携わる仕事がしたいと思い、連合会への入会を決心いたしました。

昨年度より県南事業所の嘱託職員として１年間お世話になり、未経験ながらも多くの業務に携わる機会をいただき、私にとって貴重な経験となりました。

そしてこの度、新規採用職員として迎えていただいたことを、大変嬉しく思います。

学生時代は情報システム等のプログラム関連を学んできたため、連合会の業務における技術や知識が浅く、先輩方や上司に質問することも多くありますが、今後は丁寧且つ迅速な仕事を心掛け、一日でも早く仕事を覚えられるよう日々精進して参ります。

何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

茨城県農地局作成動画「水田３ジューシー」

～茨城県で制作・撮影した土地改良事業の最新PR動画です。ぜひご覧ください！～
URL：https://www.youtube.com/watch?v=Oy6O8tQUUq4&t=61s

QRコード▶

～こちらもご覧ください～↓↓
令和４年度作成動画「いばらきの土地改良」
URL：https://www.youtube.com/watch?v=NbLHWQZbb2s

QRコード▶

第15回　いばらきの農業・農村子ども絵画コンクール

去る１月27日（土）、土浦市「霞ケ浦環境科学センター」において、茨城県・茨城県土地改良事業団体連合会の主催により、「第15回いばらきの農業・農村子ども絵画コンクール」の表彰式が行われた。

本コンクールは、「茨城県内の農業や農村に関係すること」というテーマで、県内の小学校に通う４～６年生を対象に募集しており、今回は204点の応募があった。

その中から、茨城県知事賞・茨城県議会議長賞、茨城県土地改良事業団体連合会長賞等をはじめとする計51点の入賞作品が選ばれた。

一つ一つの作品を通し、子ども達の目に映る茨城県の豊かな農業・農村の風景が感じられた。

今後も様々な活動を通し、未来を担う子ども達に本県農業への興味・関心を深めてもらいたい。

茨城県知事賞

「トマトのせんべつ」
鉾田市立旭東小学校
6年　佐山　新　さん

茨城県議会議長賞

「楽しいな、じゃがいもほり」
石岡市立石岡小学校
4年　高城　葵衣　さん

各　賞	氏　名	タ　イ　ト　ル	学　校　名	学年
知　事　賞	佐山　　新	トマトのせんべつ	鉾田市立旭東小学校	６年
県議会議長賞	髙城　葵衣	楽しいな、じゃがいもほり	石岡市立石岡小学校	４年
土連会長賞	鈴木　珠奈	バラ摘みに行ったよ	守谷市立守谷小学校	５年
教育長賞	吉森　姫愛	とうもろこしの収穫	古河市立名崎小学校	６年
農林水産部長賞	林　　芙優	Jicaの稲かり	つくば市立研究学園小学校	５年
優　秀　賞	染谷　旺佑	田うえ	坂東市立長須小学校	４年
優　秀　賞	田山　颯基	いねかり	神栖市立須田小学校	４年
優　秀　賞	油原　一志	大きく実ったよ	龍ケ崎市立八原小学校	５年

※茨城県土地改良事業団体連合会長賞は表紙に掲載。学年はR6.１.27表彰式の時点によるもの。

○第16回いばらきの農業・農村子ども絵画コンクールの開催について○

農業・農村を守り育むことの意義や必要性について理解促進を図るため、今年も絵画コンクールを開催しますので、県内の小学生に対し、広く周知くださいますようお願いします。

・応募締切：令和６年10月９日（水）

・各　　賞：参加賞の他、入賞者には図書カードをプレゼントします。

※なお、本年度より、最寄りの農林事務所にも作品を提出できますので、奮ってご応募ください。

詳細は茨城県農林水産部農村計画課HPをご確認ください。

農村計画課HP

水田三ジューシー

「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展2023
（旧名称「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展）

本絵画展は、令和４年度より「ふるさとの田んぼと水子ども絵画展」から「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展」に名称を改め、全国水土里ネット・都道府県水土里ネットの主催により、未来を担う子供達に絵画を通じて、ふるさとのすばらしさを発見し、水・土・里への関心を高めてもらうとともに、多くの人々に農業・農村の魅力をアピールすることを目的に例年開催されている。

小学生以下を対象に作品募集を行い、全国から応募総数3,021点、茨城県から26点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞31点、地域団体賞52点、入選142点、佳作175点が選ばれ、本県からは以下の２名が入選した。

入選作品（茨城県内）

「日本の米作り」
稲敷市立あずま北小学校
５年　根本　龍希　さん

「おばあちゃんちのミニトマト」
稲敷市立桜川小学校
２年　黒田　真穂　さん

～未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2024のご案内～

開催内容
- ○応募資格 小学生以下
- ○応募期間 令和６年６月１日（土）～９月６日（金）
- ○募集方法
  - 参加登録を行った団体（土地連・土地改良区等）を通じた応募
  - （※詳細については、後日茨城県土地改良事業団体連合会よりお知らせいたします。）
- ○賞（以下の賞を予定）
  - 農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞
  - 全国水土里ネット会長賞、水の路賞、ふるさと水と土優秀賞、
  - 各協賛企業・団体賞等
  - …入賞 約30点以上（副賞あり）、入選 約130点程度を予定。

いばらき水土里ネット女性の会 令和５年度第２回幹事会を開催

去る2月14日（水）、水戸市茨城県土地改良事業団体連合会3階会議室において、「いばらき水土里ネット女性の会」令和５年度第２回幹事会を開催した。

当日は16名が出席し、令和６年５月10日に開催予定の通常総会提出議案について審議が行われ、すべて原案どおり可決された。

また、幹事会後においても、今後の研修会内容や近況報告など、リラックスした雰囲気の中で意見交換が行われた。

幹事会の様子

＼お 知 ら せ／

「いばらき水土里ネット女性の会」では、随時、会員を募集しております。

女性ネットワークを広げ、情報の共有や連携の強化を図り、働きやすい環境作りを進めることを目的としています。

令和６年５月現在で、新たに2名の加入があり、会員数は70名となっております。

（問い合わせ先）

＊E-mail：honsyo01@ibarakidoren.or.jp　＊TEL：029-225-5651　＊FAX：029-225-5239

＊HP：https://ibarakidoren.or.jp　茨城県土地改良事業団体連合会本所総務部総務経理課

町島・小野

令和５年度土地改良区体制強化事業 統合整備推進研修（会計研修）を開催

去る２月27日（火）、水戸市「ザ・ヒロサワ・シティ会館」において、令和５年度土地改良区体制強化事業統合整備推進研修（会計研修）が、茨城県職員担当者、土地改良区役職員等、合計145名の出席を得て開催された。

本研修は、令和４事業年度より貸借対照表の作成・公表が義務化されたことに伴い、財務諸表等を有効活用すること、複式簿記の定着を図ることを目的として実施されるものであり、財務諸表等の作成方法や分析方法など、実践的、応用的な講義内容となっていた。

会計研修の様子

また、会計処理の事例紹介として、実際に相談があった事例をとりあげ、解決のポイント、対応方法の解説があり、非常に有意義な研修であった。

研　修　項　目	講師（全国水土里ネット）
①財務諸表等の作成手続き	支援部　主幹　田中　克哉
②財務諸表等を活用した財務分析の方法	支援部　主事　保倉　拓也
③土地改良区会計処理事例紹介	支援部　主事　保倉　拓也

令和５年度　土地改良区体制強化事業
農業水利施設の省エネルギー対策研修を開催

去る令和６年３月14日（木）、水戸市「茨城県市町村会館１階講堂」において、令和５年度土地改良区体制強化事業農業水利施設の省エネルギー対策研修が、土地改良区役職員・県関係機関職員等合計102名の出席を得て、開催された。

本研修は、農業水利施設の管理者に対し省エネルギー化の推進を目的として、土地改良区体制強化事業実施要綱に基づき実施されるものである。

当日は、下記の２つのテーマのもと、研修が行われた。

根本専務理事による挨拶

講　　師	テ　ー　マ	内　　容
茨城県土連農業農村整備課 主任係長　飯塚智史	農業水利施設の省エネルギー化検討に向けた現地指導・調査	１．事業背景 ２．省エネルギー化に向けた内容 ３．現地指導・調査 ・土浦市外十五ヶ町村土地改良区 桜川第1機場 ・里川堰土地改良区　堅磐揚水機場 ・常北土地改良区　荒田第1機場
(株)電業社機械製作所 技術２課主任　高橋直也	ポンプ設備の新技術について	１．近年の環境の変化 ２．減速機搭載型立軸一床式ポンプの紹介 ３．高効率電動機 （トップランナー：ＩＥ３相当）の注意点

飯塚　智史氏

髙橋　直也氏

いずれのカリキュラムにおいても、農業水利施設の省エネルギー化の推進に必要となる技術力を高め、施設の計画的かつ効率的な保全管理を図るとともに、組合員のコスト意識の向上に繋がる大変有意義な講義内容であった。

茨城県農林水産部農地局の人事異動

農林水産部

４月１日付

新補職名	氏名	旧勤務課所
次長兼農業政策課長	掛札　巧	農林水産部次長
次長	棚井　幸雄	農林水産部畜産課長
農地局長	渡辺　邦夫	農林水産部農地局農村計画課長

農林水産部農地局農村計画課

新補職名	氏名	旧勤務課所
課長	井坂　誠博	農林水産部農地局農地整備課国営事業推進室長
技佐兼課長補佐（技術総括）	小倉　昌幸	県央農林事務所土地改良部門事業調整課長
課長補佐	荒井　恵子	県西農林事務所企画調整部門企画調整課長
係長	助川　英也	農林水産部農地局農地整備課係長
係長	内田　太一	農林水産部農地局農地整備課係長
係長	菅谷　俊之	県西農林事務所結城地域農業改良普及センター専門員
主任（県西農林事務所駐在）	仲田　尚矢	県央農林事務所土地改良部門主任
主任	東尾　恭詳	県南農林事務所土地改良部門主任
主任	灰原　秀	県西農林事務所境土地改良事務所主任
主任	八塚　拓	農業総合センター農業研究所技師
主事	海老原　成	土木部都市局都市計画課主事
主事	原目　龍磨	潮来保健所総務課主事
主事	木内　美里	土木部龍ケ崎工事事務所契約課主事
主事	佐藤　慎祐	新規採用職員

農林水産部農地局農地整備課

新補職名	氏名	旧勤務課所
課長	倉持　明彦	県央農林事務所土地改良部門長
国営事業推進室長	嶋﨑　敏樹	農林水産部農地局農村計画課技佐兼課長補佐（技術総括）
課長補佐（総括）	佐藤　克弥	福祉部障害福祉課課長補佐（総括）
課長補佐	古川　秀一	県南農林事務所土地改良部門工務課長
課長補佐	淺見　昌史	土木部港湾課経営室室長補佐
課長補佐	澄川　幸子	県南農林事務所土地改良部門係長
主査	加藤　美穂	農林水産部農地局農地整備課係長
係長	鈴木　成	総務部市町村課係長
係長	綿引　孝夫	鹿行農林事務所土地改良部門係長
係長	郡司　礼子	産業戦略部産業政策課係長
係長	若生沙智代	県南農林事務所稲敷土地改良事務所係長
係長	谷萩雄一朗	総務部管財課係長
係長	石井　由美	農林水産部農地局農地整備課主任
係長	塚本　佑紀	農林水産部農地局農地整備課主任
係長	木村　直幸	政策企画部水政課係長
係長	神原　英明	県北農林事務所高萩土地改良事務所主任
主事	山口　徹	総務部税務課主事
技師	飯塚　昌広	県央農林事務所土地改良部門技師
主事	富田　恭生	新規採用職員

県北農林事務所　土地改良部門

新　補　職　名	氏　　名	旧　勤　務　課　所
部門長	雨澤　英治	県北農林事務所高萩土地改良事務所長
工務課長	吉川　浩二	鹿行農林事務所土地改良部門工務課長
係長	黒羽なつき	県央農林事務所土地改良部門係長
係長	髙場　真一	県北農林事務所土地改良部門主任
技師	髙橋　一希	県西農林事務所土地改良部門技師
主事	小野　杏樹	新規採用職員

県北農林事務所　高萩土地改良事務所

新　補　職　名	氏　　名	旧　勤　務　課　所
所長	永瀬　啓一	県西農林事務所境土地改良事務所長
技師	西宮　悠祐	県西農林事務所土地改良部門技師

県央農林事務所　土地改良部門

新　補　職　名	氏　　名	旧　勤　務　課　所
部門長	大内　正光	県南農林事務所土地改良部門長
国営土地改良事業専門監	柏木　達陽	鹿行農林事務所長
事業調整課長	黒羽　敏彦	県北農林事務所土地改良部門工務課長
用地管理課長	寺杣　　崇	産業戦略部科学技術振興局科学技術振興課特区・宇宙プロジェクト推進室室長補佐
検査監	日比　正人	県西農林事務所土地改良部門検査監（境土地改良事務所駐在）
係長	小滝　智之	県央農林事務所企画調整部門係長
係長	磯　　伯之	県西農林事務所土地改良部門係長
係長	祖父江亮介	農林水産部農地局農村計画課係長
係長	下平　哲也	農林水産部農地局農地整備課係長
係長	綿引　直哉	県央農林事務所土地改良部門主任
主任	遠藤　弓佳	鹿行農林事務所企画調整部門企画調整課主任
主任	寺田　勝也	県西農林事務所土地改良部門主任
技師	田谷　優人	県北農林事務所土地改良部門技師
技師	田中　航平	鹿行農林事務所土地改良部門技師

鹿行農林事務所　土地改良部門

新　補　職　名	氏　　名	旧　勤　務　課　所
部門長	岡部　弘道	県北農林事務所土地改良部門長
工務課長	西村　正巳	鹿行農林事務所土地改良部門事業調整課主査
事業調整課主査	葛西　直哉	農林水産部農地局農地整備課係長
係長	武石　敏将	県央農林事務所土地改良部門係長
係長	門井　友幸	鹿行農林事務所土地改良部門主任
主任	大野　真敬	県央農林事務所土地改良部門主任
主任	三宅　拓也	県央農林事務所土地改良部門主任
主事	出頭　聖哉	総務部行方県税事務所収税課主事

県南農林事務所　土地改良部門

新補職名	氏名	旧勤務課所
部門長	岡野　祐一	県南農林事務所土地改良部門事業調整課長
事業調整課長	荒井　伸之	農林水産部農地局農村計画課課長補佐
工務課長	弘中　貴子	県南農林事務所稲敷土地改良事務所工務課長
工務課主査	秋葉　正彦	県南農林事務所土地改良部門係長
係長	大貫　範幸	県央農林事務所土地改良部門係長
主任	安藤　文子	土木部常総工事事務所契約用地課主任
技師	曲渕　光	県北農林事務所土地改良部門技師
技師	中山　龍生	新規採用職員
主事	大越　優香	新規採用職員

県南農林事務所　稲敷土地改良事務所

新補職名	氏名	旧勤務課所
契約用地課長	飯塚光一郎	水戸土木事務所契約課長
工務課長	飯田　英雄	県西農林事務所境土地改良事務所工務課長
係長	太田亜由美	県南農林事務所稲敷土地改良事務所主任
主任	大野　竜矢	農林水産部農地局農地整備課主任
技師	宮下　翔	新規採用職員
主事	仲久木　彩	新規採用職員

県西農林事務所　土地改良部門

新補職名	氏名	旧勤務課所
事業調整課長	菊池　智士	農林水産部農地局農地整備課課長補佐
検査監（境土地改良事務所駐在）	村中　健一	県西農林事務所土地改良部門係長
副主査	小川　洋之	総務部県西県民センター課長補佐
係長	伊東　太一	県西農林事務所境土地改良事務所係長
係長	富永　洋史	県西農林事務所土地改良部門主任
係長	五十嵐淳子	県西農林事務所土地改良部門主任
技師	鈴木　大河	県南農林事務所土地改良部門技師
技師	小久保　俊	新規採用職員
技師	坂本　竜暉	県南農林事務所土地改良部門技師
主事	吉原　淳也	総務部筑西県税事務所主事
主事	細貝　祐希	総務部管財課主事
主事	髙橋　志萌	新規採用職員

県西農林事務所　境土地改良事務所

新補職名	氏名	旧勤務課所
所長	光田　栄	県西農林事務所土地改良部門事業調整課長
工務課長	増田　隆一	県央農林事務所土地改良部門検査監
契約用地課長	佐竹　直	県西食肉衛生検査所管理指導課長
検査監	村中　健一	県西農林事務所土地改良部門係長
係長	小林　裕輔	県西県民センター係長
係長	永澤　充	農林水産部農地局農村計画課主任
技師	鈴木　翔真	県南農林事務所稲敷土地改良事務所技師
技師	稲葉　大騎	新規採用職員
主事	中島里美花	新規採用職員
主事	古嶋　壱成	新規採用職員

連合会の人事異動

本所

４月１日付

新補職名	氏名	旧勤務課所
事務局長兼総務部総務経理課長	樋口　雅也	事務局長
総務部総務経理課主査	大場　景次	本所事業部農業農村整備課換地室主査
次長兼事業部農業農村整備課長	高見　昌則	県南事業所長兼庶務課長
事業部農業農村整備課測量室長兼換地室長	小池　忠則	本所事業部農業農村整備課測量室長
事業部農業農村整備課整備室長兼情報施設管理室長	髙﨑　正美	県北事業所庶務課長
事業部農業農村整備課情報施設管理室主任	小島　　孟	県北事業所農業農村整備課整備係主任
事業部農業農村整備課測量室係長	圷　　淳一	本所事業部農業農村整備課測量室主任

県北事業所

新補職名	氏名	旧勤務課所
事業所次長兼庶務課長	栗田　　充	本所事業部農業農村整備課情報施設管理室長兼整備室長
庶務課庶務係主任係長	長山　一人	県北事業所庶務課庶務係係長
換地課長	高橋　一勝	県北事業所換地課換地係兼国営換地係課長補佐
換地課換地係兼国営換地係参与・調査指導監	監物　淳二	換地課換地係兼国営換地係嘱託
換地課換地係兼国営換地係係長	清水　　哲	換地課換地係兼国営換地係主任
換地課換地係兼国営換地係技師	村山駿太郎	県西事業所農業農村整備課換地係技師
農業農村整備課長	小瀧　雄二	県北事業所農業農村整備課整備係主任係長
農業農村整備課整備係主任係長	高橋　信雄	県南事業所農業農村整備課整備係主任係長
農業農村整備課整備係係長	菊地　満弘	県西事業所農業農村整備課整備係係長
農業農村整備課整備係主任	阿部　武人	本所事業部農業農村整備課情報施設管理室主任
農業農村整備課整備係嘱託	横田　雅志	県北事業所農業農村整備課整備係副主査

県南事業所

新補職名	氏名	旧勤務課所
事業所長兼庶務課長	長洲　裕之	本所総務部総務経理課長
副参事	貝塚　秀男	本所事業部農業農村整備課長兼換地室長
農業農村整備課整備係主任係長	山﨑　一利	県北事業所農業農村整備課整備係係長
農業農村整備課整備係技師	大塚　皓太	県南事業所農業農村整備課整備係嘱託

県西事業所

新補職名	氏名	旧勤務課所
事業所長兼庶務課長	関　　謙一	県西事業所農業農村整備課長
農業農村整備課長	二川　貴夫	県北事業所農業農村整備課長兼換地課長
農業農村整備課換地係主任係長	兼村　昌記	県北事業所換地課換地係兼国営換地係主任係長
農業農村整備課換地係嘱託	海老原一夫	県西事業所農業農村整備課換地係主査
農業農村整備課整備係主査（役職定年）	渡辺　　進	県西事業所長兼庶務課長

退職者

氏名	退職時勤務課所	備考
小林　優聖	県北事業所換地課換地係兼国営換地係主事	10月31日付
山田　俊一	県南事業所農業農村整備課整備係主査（再雇用）	3月31日付

農家負担金軽減支援対策事業のご案内

～土地改良事業の受益者負担金の利子負担を軽減！～

１．水田・畑作経営所得安定対策等支援事業【無利子貸付】

土地改良法に基づく土地改良事業等の実施地区において、要件を満たすことが確実と見込まれる地区に対して、経営所得安定対策等支援計画に従って、受益者負担金の5/6に相当する額を限度に無利子貸付

対象となる事業

土地改良法に基づく事業であって、①②のいずれにも該当しない事業

①担い手育成農地集積事業（公庫の無利子貸付）の対象事業

②水利施設等保全高度化事業実施要綱に基づく水利施設整備事業のうち農地集積促進型

採択要件（１～３のいずれかに該当）

１．支援計画で定める目標年度までに、担い手農地利用集積率が一定の割合で増加すること。

採 択 時	目　標
80%未満	10ポイント増加※
80～90%未満	10ポイント増加
80～90%未満	95%以上
80～90%未満	シェア増加
100%	維持

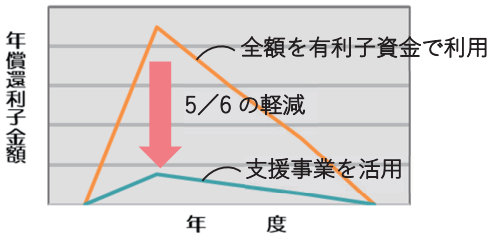
※目標集積率60%未満は採択しない。

２．支援計画で定める目標年度までに、高収益作物※の生産額がおおむね20%以上増加すること。

※ 高収益作物とは、主食用米と比べて面積当たりの収益性が高い作物（野菜、花き・花木、果樹など）をいう。

３．輸出事業計画の認定規程に基づき認定された輸出事業計画との連携が図られること。

支払利子の比較（イメージ）



借入額が多ければ利子が大幅に軽減！

例えば、54百万円を6年間（合計3億24百万円）0.65%で借りた場合、約18百万円の利子が軽減される。

償還期限・償還方法

・25年以内（据置期間10年以内を含む）
・均等年賦償還

２．農地有効利用推進支援事業【利子助成】

農地耕作条件改善事業を実施し、担い手への農地利用集積がおおむね８割以上となる地区に対して

（１）受益者負担金の償還利子相当額の5/6を限度として助成〔事業費助成型〕

（２）農地中間管理機構が農地の出し手（所有者）に対する賃料の一括前払に必要な借入資金に係る償還利子相当額を助成〔一括前払助成型〕

※ 農地利用集積が既に８割を超えている地区は対象としない。

なお、災害時に利用できる災害被災地域土地改良負担金償還助成事業もあります。

（問い合わせ先）茨城県土地改良事業団体連合会本所総務経理課（TEL 029-225-5651）

R6.4.11更新

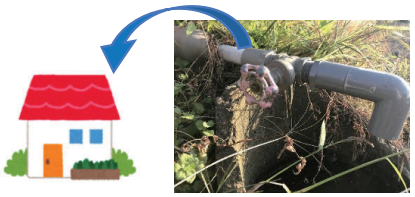
金属製バルブ 土地改良施設 が狙われているかも？！

盗難に注意!!

茨城県内では、令和5年度に**49件**、被害総額**2,137万円**の盗難被害が発生しており、盗難件数・被害総額共に年々増加しています。

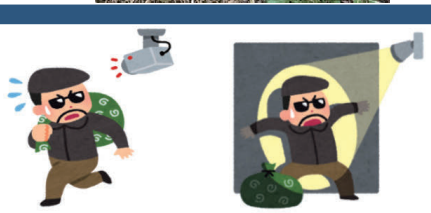
効果的な対策

非かんがい期は
給水用蛇口を外して自宅保管



プラスチック製の蛇口を導入

防犯カメラや**ライト**の導入



「**防犯カメラ作動中**」、「**盗難対策実施中**」の**看板やステッカー**等を設置

・盗難が発生した場合は警察に被害届を提出し、土地改良区等に報告しましょう。
・土地改良区等は県へ報告するとともに、組合員等への注意喚起をお願いします。
・万が一に備えて、保険の加入を検討しましょう。

茨城県農村計画課